

# 東京庄原格致会会報

第32号

2024年9月

発行人・八谷英樹  
編集人・武廣 巖  
印刷所・(株) クレスコアース  
コミュニケーションズ

## 令和五年度

## 東京庄原格致会

## 総会・懇親会の報告

秋晴れに恵まれた令和5年10月22日(日)、四ツ谷駅前の主婦会館・プラザエフで「東京庄原格致会」第41回総会・懇親会が開催されました。

当日は会員参加者が32名、畦知校長先生他6名の来賓に加え、庄原市役所いちばんづくり課と自治定住課から3名の特別参加がありました。

### 【総会】

武廣事務局長(48年卒)の司会で正午に始められた総会は、冒頭、この一年間に事務局に「亡くなった」との連絡をいただいた3名の会員の方のご冥福を祈って黙とうを捧げその後、近畿庄原格致会からの祝電披露が行われました。続いて八谷会長(35年卒)の挨拶で総会の幕を開けました。

### \*八谷会長の挨拶の概要

- ・同窓会は庄原格致高校卒業生の心のオアシス
- ・会員への会報発送数が452となり会員は減少傾向
- ・同好会は囲碁が月例会を続けているのみに、ゴルフ・日帰りバス旅行は活動休止
- ・HPの「皆様のご意見」に近況や会の活動に対するご意見をお願いする。

次に司会者からご来賓の方々を紹介した後、畦知克利校長先生、加藤武徳庄原市企画振興部長(市長代理)、藤谷善久本部同窓会副会長から祝辞をいただきました。

### \*祝辞要旨

#### (畦知校長)

・世羅高校出身、297名在学中で前任の青本先生の敷かれたレールに乗り、生徒共々頑張っており、成果を上げている。

#### (加藤部長)

・庄原市の現況(人口は前年比△

693人の32、193人。世帯数は15、005。庄原地域のみで見ると16、914人、7、896世帯)

・JR芸備線は廃止ではなく、庄原駅から備中神代駅間が再構築事業。5月の広島サミットの晩餐会で比婆牛、高野のリンゴジュースが提供され好評

### (藤谷副会長)

・亀井静香元代議士の胸像除幕式に藤光会長が出席するため、東京庄原格致会総会に代理出席  
・本部同窓会は会報の協力金1、000円で運営しており協力をお願いする。

・4年ぶりの開催となる今年の総会は11月4日に桜花の郷・ラフォーレ庄原(旧・かんぼの郷庄原)で開催予定

・母校は4年後の2027年に創立130年を迎え、積立基金を募集中

次に八谷会長を議長として議事に入り、武廣事務局長から令和4年度の事業報告・決算報告が行われ、遠藤靖夫監事(37年卒)の監査結果報告を受けた後、大きな拍手で承認されました。



東京庄原格致会 令和5年度総会 出席のみなさん

### \*決算のポイント

・年会費(2,000円)の収入は222,000円と昨年より微増したが依然として低調

・会報記念号発行に対する寄付もあり一般会計の寄付金収入が189,000円と多額

・会報を記念号(カラー、増頁として発行したため)作成費・発送費が例年より増え、約40万円

議事終了後、いちばんづくり課 足羽課長・村上主事、自治定住課 定光係長から庄原市の近況報告に加え、ふるさと納税への協力と庄

原市ファンクラブへの加入要請があり、その後映像で昭和20年代から現在に至るまでの庄原市内の町並みを紹介していただきました。その場で庄原市ファンクラブに入会した会員もいました。

以上で総会を終了し、直ちに記念撮影に移りました(写真は当日皆さんにお配りしました)。

【懇親会】

12時15分から懇親会に入りました。助政千尋幹事長(40年卒)のプロ並みの司会で大いに盛り上がった懇親会になりました。

まず、大竹美喜東京広島県人名誉会長の乾杯でスタートし、しばしの歓談に入りました。

- ・大竹さんのスピーチ要旨
- ・人生百年、自分は84歳、残りの人生を健康に過ごすための戦略、一日 ①一万歩を歩く ②本を一冊読む ③百字を書く ④十人と会う ⑤順調なお通じ

しばらく歓談して、ご来賓の新井教亨庄原実業高校同窓会東京支部支部長と吉宮孝治世羅高校東京校友会会長から祝辞をいただきました。

今回の参加者の中には吹奏楽部

OBの方が7人もおられ、在学中に各大会で活躍した話などに花が咲いていました。

初参加の方や久しぶりに参加いただいた本間さんなどからスピーチをいただきました。

・奥田規行さん(36年卒) 浜松から参加、来賓の藤谷副会長の従兄弟

・八谷隆允さん(37年卒) 旧運輸省職員、フルマラソン  
・梅田学さん(39年卒) ホルン奏者、東京交響楽団で首席奏者を35年

・本間ますみさん(49年卒) 元東京都立高校教員で元祖カープ女子

・藤谷道夫さん(52年卒) 慶應義塾大学教授、イタリヤ文学

また、詩吟の大家 木曾隆治さん(46年卒)にはアカペラで黒田節を朗詠していただき、盛り上げていただきました。

「それ行けカープ」を本間さんと武廣さんが、恒例となっている「敦盛さん」を大岩征子さん(37年卒)が熱唱され、校歌を全員で斉唱しました。

アツという間に中締め時間になり、最年長の室伏孝一さん(25

年卒)の三本締め、「今日の日はさようなら」をバツクに事務局が用意した郷里からのお土産を手



吹奏楽部OBの皆さん

東京庄原格致会の一層の発展を願って!!

会長 八谷英樹 (昭和三十五年卒)



昨年の総会には初参加の方も含め32名の会員の皆様に

御出席いただき会を盛り上げてもらえ感謝しております。それから早くも一年が過ぎようとしておりますが、皆様その後如何お過ごしでしょうか? 元気に過ごされて

令和五年度 総会出席者名簿

畦知克利	庄原格致高校校長
加藤武徳	庄原市企画振興部長
藤谷義久	庄原格致高校同窓会副会長
前谷邦治	庄原格致高校同窓会幹事長
新井教亨	庄原実業高校同窓会東京支部支部長
吉宮孝治	世羅高校東京校友会会長
大竹美喜	東京広島県人会名誉会長
足羽幸宏	庄原市企画振興部いちばんづくり課課長
村上隼也	庄原市企画振興部いちばんづくり課主事
定光康江	庄原市企画振興部自治定住課係長
室伏孝一	昭和五五年卒 (山内西)
信清 治	昭和三一年卒 (庄原)
生田八洲 紘	昭和三三年卒 (濁川)
合田良三	昭和三五年卒 (川北)
田淵統洋	昭和三五年卒 (庄原本町)
積山弘佳	同 (口和)
光島勝馬	同 (比和)
八谷英樹	同 (比和)
奥田規行	昭和三六年卒 (庄原本町)
遠藤靖夫	昭和三七年卒 (高)
大岩征子(花好)	同 (庄原本町)
新山千櫻	同 (西城)
八谷隆允	同 (板橋)
川野正江(明石)	昭和三八年卒 (西城)
小池正之	同 (庄原)
塚原通彦	同 (総領)
梅田 学	昭和三九年卒 (比和)
中田 毅	同 (春日)
助政千尋	昭和四十年卒 (川手)
田中文男	同 (板橋)
戸屋 新	同 (高野)
花田和教	同 (西城)
新宅一二三	昭和四二年卒 (三次)
木曾隆治	昭和四六年卒 (庄原本町)
奥重秀彦	昭和四七年卒 (口和)
武廣 巖	昭和四八年卒 (宮内)
田原英樹	同 (総領)
畑原裕文	同 (口和)
原本政至	同 (比和)
本間ますみ(牧原)	昭和四九年卒 (三口市)
藤谷道夫	昭和五二年卒 (庄原本町)
坂口純代(黒田)	昭和五三年卒 (川北)

氏名の中の( )は旧姓

いることを念じております。そして今年は更に多くの会員の皆様とお会いできることを願っております。

年明け早々の能登半島地震、その後も余震が続いており、被災者の皆様にはお悔やみとお見舞いを申し上げます。私の友人にも被災地を郷里とする方があり話を聞くとこの後の生活再建が大変なようです。関東大地震への備えも怠ってはいけないとの思いを強くしたところです。

さて、「私達」「東京庄原格致会」の活動は例年と変わらず特記するものはありませんが、高齢化・少子化の影響を受け会員への会報発送部数が昨年に引き続き500部を割り込む状況になっております。これらに連れて年会費を納めていただく方も減少傾向にあり、かろうじて百人を維持している状態です。財政状態は苦しいままです。新しい会員の発掘に向けて一層の努力が求められます。皆様のご協力をお願い致します。同好会は囲碁が毎月の例会を続けていますがゴルフ・バス旅行は幹事の高齢化もあり残念ながら休止状態になっています。同好の方の参加を熱望しております。友人・知人を誘っ

て申込んでください。

母校ではこの春の異動で高林賢治教頭先生が転出され、後任に龍王理香先生をお迎えしております。高林先生には一年間と短い期間でしたが「母校だより」等お世話になりました。

私は昨年の総会で会長として三期目の任命をいただきましたが、間もなく満83歳を迎えることとなります。かねてから組織の活性化を図るためには若い後任者へのバトンタッチが急務と考えておりました。この度やっとその目途がたちましたので来る総会で後任者を紹介しお認めいただければと思っております。

任半ばでの我儘になります。東京庄原格致会の活性化、将来の発展のためにも宜しくお願い致します。

今年のカーブは交流戦を好成績で乗り切りトップで邁進するとう前評判を覆す成績で前半戦を終えました。この調子を維持し是非優勝の栄に輝いてもらいたい、そして来る総会・懇親会で多くの皆様にお集まりいただき祝杯を挙げられますことを念じ楽しみにしております。

(6月下旬記)

### 令和六年度

### 総会・懇親会のご案内

十月二十日(日)

「主婦会館プラザエフ」にて開催

総会・懇親会を、十月二十日(日)に開催いたします。母校の校長先生や本部同窓会会長などにも案内状を差し上げております。備後弁で楽しい会になりますよう皆様のご参加をお待ちしております。

一、日時 令和六年十月二十日(日)

(受付は十一時三十分から)

総会 十二時から三十分程度

懇親会 約二時間(お開きは一五時三十分を予定しております)

二、会場 主婦会館プラザエフ

(九階 スズランの間)

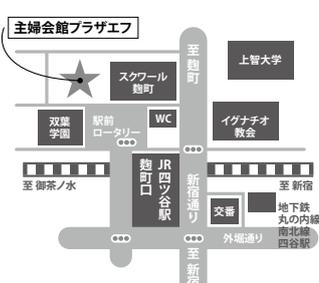
所在地 東京都千代田区六番町十五番地

電話 〇三・三二六五・八一二一

三、会費 八千円(今年から、男性・女性・同伴者とも同額)

※年会費(二千元)は、当日受付でも承ります。

### 総会・会場のご案内



### 主婦会館プラザエフ

東京都千代田区六番町十五番地

TEL. 03-3265-8111

- ・JR[四ツ谷駅] 麹町口 徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線[四ツ谷駅] 1番出口(徒歩3分)
- ・東京メトロ南北線[四ツ谷駅] 3番出口(徒歩3分)

### 「格物致知」を 模索しつつ



広島県立  
庄原格致高等学校  
校長 畦知 克利

(略歴) 昭和61年…世羅  
高校卒、平成2年…広島  
大学教育学部卒、令和2  
年…三次高校教頭、令和  
3年…瀬戸田高校校長、  
令和5年…現職

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に御支援を賜り、感謝申し上げます。昨年4月に赴任し、本校2年目を迎えました校長の畦知克利(あぜちかつとし)と申します。世羅郡(世羅高校)の出身で、県北で長く勤務しておりましたが、昨年度庄原格致高校で勤務し、勉強・部活動・学校行事のいずれにも熱心に取り組む生徒やそれを支える教職員の姿に力をもらうことが多く、さらには東京庄原格致会を始めとして、多くの同窓会の方々、地域からの支援の大きさを感じた1年間でした。今年2月には、「高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト」に係る学科等の特色を生かしたカリキュラム開発研究指定校、なかでも令和4年からのSTEAM教育

モデル校としての教科等横断的な授業づくりやデジタルシテイズンシップ教育に関わる取組が評価され、令和5年度広島県教育奨励賞を受賞しております。令和6年度も庄原格致高校の良さと伝統を継承し、新たな時代に対応していただける教育内容づくりに取り組んでまいります。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な地域行事が再開し賑わいを見せましたが、本校の行事も格致祭文化の部、格致祭体育の部などで活気を取り戻し、平日開催にも関わらず、多くの保護者や地域の方に来校していただきました。その他にも2年生の関東方面への修学旅行、三校(東城、西城紫水、庄原格致)合同芸術鑑賞会、校内球技大会、改装された庄原市民会館でのクリスマスコンサート、ロードレース大会と、生徒の主体性やレジリエンスの育成を目指しながら、すべての行事を充実した内容で、楽しく実施することができました。今年度も2年生の修学旅行は10月15日(火)から18日(金)の日程で関東方面に予定しております。

さらに、令和5年度の第3学年

生徒の進路面での成果は目を見張るものがあり、本校の教育活動の成果の指標の1つとして設定している広島大学や県立広島大学など国公立大学合格者数が、令和4年度の29名から大きく増加し、44名となりました。これは記録が残る中では最も多い人数であり、実際の国公立大学への進学率も40%を越え、授業を中心とした教育内容で生徒を育てていく学校として、誇れる数字となっております。この背景には、生徒一人一人の頑張りや保護者の皆様の支えがあることはもちろんですが、同窓会をはじめ地元自治体である庄原市からの支援による河合塾の出張講義の実施や、本校職員の授業の質を高める努力と丁寧な指導など3年がかりの取組が結果として表れたと思っております。改めて関係者の皆様に感謝申し上げます。

さて、令和6年度が始まり、普通科、普通科医療・教職コース合計92名の新生を迎えることができました。今年度は文部科学省が全国で1000校指定したDXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)対象校となり、今後データサイエンスを学びながら、「STEAM教育」を始めとした教

科等横断的な視点で、実社会での課題発見・解決に資する能力の育成のための教育内容づくりへの取組を総合的な探究の時間を核としたカリキュラムで実施してまいります。自由でのびのびとした雰囲気を守り、勉強と学校行事、部活動を大切にしながら、教育目標である「格物致知」を実践し、高い知性と豊かな感性を持ち、進んで地域や社会に貢献できる生徒を育成する」を目指すことは変わりません。ホームルーム活動での協働性や協調性を高める活動の取り入れや、医療・教職コースの生徒を中心に休日に小学生教室を実施し、小学生の体力や学習への興味の育成をするといった地域で必要とされる活動を生徒たちが考えて実行する取組も継続してまいります。今後とも御支援をお願いいたします。

## ご挨拶



広島県立  
庄原格致高校同窓会  
会長 藤光 有  
(昭和四十年卒)

東京庄原格致会の皆様には、ご

健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日頃は同窓会活動に格別のご支援並びにご協力を賜り深謝致しますとともに、厚くお礼申し上げます。

農家出身の方はご存じでしょうが、この時季ふるさと庄原地方では田植えが終わり集落ごとに「泥落とし」行事が楽しく賑やかに開かれ、その年の豊作を願ったものでした。

また、夏至(今年は6月21日)から11日目を半夏生(はんげしよ)といつて、この日までには田植えを済ませようになっています。

ところが今では田植え作業のほとんどが機械化され、主役はオペレーターとなり、短期間で作業は終わり、この行事も残念ながらほとんど見られなくなっています。利用が低迷するJRR芸備線備後庄原―備中神代間の再構築協議会が3月26日広島市で始まりました。

鉄路を存続させるかバスなどに転換するかを話し合い原則3年以内に結論を出すこととなります。

国による再構築会議でローカル線の存続を話し合うのは全国で初

めての取り組みです。

また、JR西日本は、木次線出雲横田―備後落合間のあり方について沿線自治体と相談する方針を明らかにしています。

列車通学をしている生徒もいますので、同窓会としても注意深く議論の成り行きを見つめていきたいと思っています。

母校の近況ですが、6月2日(日)第51回と由緒ある広島県北部地区吹奏楽交歓会がジミーカーターシビックセンター(三次市甲奴町)で開催されました。

庄原格致高等学校生徒26名、日影館高等学校生徒15名、三次中学校・高等学校生徒49名が参加し、母校は、課題曲Ⅲメルヘン、そして繚乱く能「桜川」の物語によるラブソナーの2曲を演奏しました。

新人部員16名も初出演し緊張しての舞台でしたが、伝統ある吹奏楽部の復活の兆しを感じると同時に、今年創立127周年を迎えた庄原格致高等学校のカラータンとなる様々な取り組みを更に充実してくれることを期待しました。

母校は明治30年に小田源吉先生が庄原地域の若い世代に教育の場を提供することを使命として設立

されました。

同窓会は、県北の有為な人材育成の中心的な役割を果たすという建学の精神に資することを維持拡充してまいります。

終わりになりますが、これから猛暑の季節を迎えます。皆様方におかれましてはお体にお気をつけて下さい。

東京庄原格致会の益々のご隆盛と皆様の更なるご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。(令和6年6月5日記)



傘寿を越えて  
塚原 通彦  
(昭和三十八年卒)

会員の皆様こんにちは、私は昭和十九年生まれで今年で満八十歳になり、傘寿をなんとか迎えることが出来ました。歳を重ねることに故郷への様々な思いや、これま

での人生の歩みの中での出来事が走馬灯のように思い出されます。

会員の皆様もきっと故郷での幼いころやこれまでの人生を振り返られることがあると思いますが、私も八十歳になった区切りに人生を振り返ってみたいと思います。会員だよりに投稿させて頂くことにしました。

私の産まれた所は、広島県甲奴郡田総村稲草(現在の庄原市総領町稲草)で昭和三十五年に総領中学校を卒業し庄原格致高校へ入学しました。その年の格致高校への進学者は六名でしたが令和四年は二名で令和五年は一人もいませんでした。総領町出身者としては寂しい限りです。小学時代の思い出は勉強ではなく、近くの川(田総川)で泳ぎ、素潜りし手作りの水中鉄砲で魚を取り、近くの友達と「クギ打ち、メンコ、ビー玉、チャンバラごっこ」等して遊んだことが懐かしく鮮明に思い出されます。

中学時代は野球部に入り放課後遅くまで練習し、庄原や三次まで遠征し対外試合をしたことが良き思い出となっています。私が庄原格致高校に入学したときは学校は現在の西本町にある「庄原実業高校」のところで校名は「庄原高

校」でしたが、普通科、家政科は「庄原格致高校」となり、昭和三十七年に三日市に移転しました。高校への通学は主にバスでしたが実家の裏山を通る、福山・庄原線の「粟石峠」はくねくね曲がった山道の難所でバスで庄原まで片道一時間はかかり学校までは一時間半はかかって通学していました。時々粟石峠を突き切るようにあった谷沿いの細い山道を自転車を押して登り自転車通学もしました。おかげで足腰が鍛えられたのではと今は思っています。昭和四十八年にトンネルが出来庄原まで車で二十分程で行けるようになり便利になったとの事です。

高校での思い出は、一年の時は部活で野球部に入りましたが、学校が三日市に移転した時に野球部は廃部になったので新聞部に入り活動したことや、生徒会活動で体育委員長として朝礼で壇上に立ちラジオ体操の音頭をとったことが良き思い出です。

私は四人兄弟で長男であつた為、経済的に



昭和37年新聞部発行

も早く働こうと考え、その時給料の良かった証券会社に就職しました。入社した時代は証券会社は「かぶ屋」と呼ばれ資本主義経済の一翼を支えている業界としては社会的信用度は今一でしたが戦後高度経済成長期(昭和三十年〜四十八年)に時代の変化に乗り近代化を進め今では一定の評価を得る業界になったと思っています。いわゆる「バブル崩壊」と言われる平成三年までは日経平均株価も右肩上がりです仕事も忙しく、三月・九月の決算期には自宅に帰れず貸布団屋から布団を借りて会議室で寝泊まりしたり、近くのホテルを借りてそこから通勤したりして業務を処理していました。振り返ってみれば田舎の自分が四十年余の長きにわたり証券会社で業務に携わり、経済の仕組みや政治の動向に関心を持ち生活できたことは、良かったのだと思っております。

会社は六十歳で定年退職しましたが家にいてもやることのないので身体が鈍るだけだと思い、健康のため身体を動かそうと山の会に入り山登りを楽しみました。「槍ヶ岳」「剣岳」「奥穂高岳」等アルプスの山々に登頂し、表銀座、裏銀

座も縦走でき、その時々雄大な景色に感動し、コマクサ、キタダケソウ等の厳しい環境の中でも愛らしい花を咲かしている高山の色んな花々にも出会え心を和ませてくれました。お陰様で社員時代では経験できなかった素晴らしい思い出を人生の一ページに作る事が出来ました。

人生のゴールは田舎に帰りのんびりと余生を送りたいと思っておりますが、子供たちが関東で就職し生活していますので夢は叶えられそうにありません。人生百年と言われている今日、八十歳

八十歳



台湾の玉山主峰 (3952 m)



奥穂高岳頂上にて



剣岳頂上にて

を越えても気持ちはいつまでも青春のまま、まだまだ元気を出して頑張ろうと思っている今日この頃です。

最後に一句

「傘寿越え米寿の山に登りたい」

## 今年もカープ(第2弾) 「庄原ファンクラブ交流 会in東京」に参加して



本間ますみ

(昭和四十九年卒)

(写真は達川光男氏とのツーショット)

今年2月のある日曜日、銀座1丁目にある広島ブランドショップ「in」で「庄原ファンクラブ交流会in東京」が行なわれた。参加申し込みは先着順とは書かれていなかったが、応募したら30名定員というのに来場案内が届いて驚いた。これまでも「in」ではカープ選手が来るようなイベントがあったりいつも開店前から路上にファンが並んでいた情報はあつて、今回「え？入れるのか？」：達川光男のトークショーがあると

いうのです。庄原ファンクラブの会員じゃなくても行ってみたいくなるんじゃないの？

当日は早めに行って前方の席をゲット。

始まるとまず庄原市長木山さんの挨拶。このイベントのためにわざわざお越しになったのかな？庄原の豊かな大自然や特産物の比婆牛やリンゴなどの宣伝に次いで、日本誕生の女神―伊邪那美命の御陵がある比婆山の熊野神社が、ユネスコの世界遺産に登録されている奈良・和歌山・三重の熊野神社よりもはるかに古い『古事記』に登場することや、大正天皇崩御の際、大喪の礼に使われた牛車を引く牛が丈夫で見目麗しい比婆牛であったことなど、郷土愛あふれる庄原が熱く語られ、そりゃあ知らなかった、こっちの友達に話して聞かせんといけんな…と思つて聞くうち、ぜひ何度でも帰省してくださいと締めくくられた。

そして達川さん登場。今年のお正月に庄原で実業高校の生徒を交えて会談したことで縁ができた話から始まり、やっぱり聞きたいのはカープの話じゃろう？と、今は亡き衣笠選手や北別府投手との思い出、裏話やびっくり談など、あ

ちこちに話は飛びつつ広島弁で笑いが止まらない楽しい時間が過ぎていきました。

質問・意見交換タイムに、高校時代の話が中途半端だったので、思わず、私は達川さんと同学年、高校3年の夏に広商が優勝した時、広商のキャプテンだった金光くんのファンだった、今その金光くんはどこでどうしているのでしょうか?と聞いたたら「よう覚えとってじゃねえ!金光は法政の野球部の監督しよるよ、行ってみんさい、会えるけえ」との回答。ひえー!感激。まさか法政大学のグラウンドに、見に行ったりはしないが、50年前の懐かしい広商野球の話も続いて、心の中がホカホカしました。

その話の時、会場の後方の席で「東京格致会の会報で見たよ」という声が!そうなんです、この、私が高校3年生の時に広商が優勝して私が金光くんのファンだったという話は昨年の東京庄原格致会の会報に寄稿していたことなのです。ということはこの会場に東京庄原格致会の方が参加していた?だけでなく、もしかしたら、まだ東京庄原格致会員ではないが同窓の東京在住の方もいたかもしれな

いということ?だとしたら、こんな機会に同窓の輪が広げられるんだな...

今年のカープは達川さんの弁によると、ドラ1の常廣が抜群の投手として期待できること、若手では小園と坂倉。特に坂倉はキャッチャーとして會澤とともに活躍するはず。教わりに来る態度もええよ、と、ミットの構え方なんかをジェスチャーしながら語ってくれました。(こう腕を後ろに引くんでなしにこうやって左右に、扇子を広げるように動かすんじや。言うたら、坂倉がセンスて何ですか?と言う。今の若い子は扇子を知らんのよ。どう言うて説明すりゃあええんか、若いコーチに聞いたら、達川さんそりゃ、ワイパーよ。)

その後、参加者間の交流会となり、さすが庄原、比婆牛の食べ放題にシビエのピザ、清酒「比婆美人」やリングゴで作った発泡酒「シールド」も飲み放題の大盤振る舞い、達川さんとのツーショットも撮ってもらい全員集合の記念写真も笑って!みなさん(私も)気持ちよくお開きとなりました。

さて、そろそろ球春(今日は3月2日)、今年の開幕投手は九里!

今年の東京庄原格致会総会・懇親会は10月20日(日)とのこと。その頃にはリーグ優勝を果たしているか、も。旨酒を酌み交わせるか、も。期待して応援しましょう。今年も頑張れカープ!

# 母校だより

## 母校の現況

庄原格致高校 教頭 龍王 理香

同窓会の会員の皆様には、日頃より本校の教育活動、また在校生に対し多大なる御支援をいただきまして大変ありがとうございます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ほとんどの教育活動をコロナ前の規模に戻して進めることができました。通常の授業においては、コロナ禍の間にICT等を活用した授業展開が定着してきたことで、先生方の授業も、家庭でできること、授業でしかできないことなど授業の進め方もICTを効果的に活用し

た授業へと改善を進めることができています。

現在の3年生は、中学時代や本校に入学してからも、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事など集団で行う行事等の経験が少なかった生徒たちです。上級生となったものの、具体的な最終のゴールイメージを持つことができないまま、やや手探りで企画・運営をしなければなりませんでした。しかし、そのことで逆に既成概念にとらわれることなくアイデアを出し合うことができました。それにより、自分たちの代で新しい伝統を創っていくという強い意思に変わり、生徒会執行部や各委員会がその気概をもって学校生活や行事を盛り上げてくれたり、教員の間でも、生徒の主体性が十分に発揮できるように、事前の企画や準備に十分に時間をとって生徒たちに協議を積み重ねさせて当日を迎えるよう入念に指導する雰囲気や醸成されていきます。そのため、生



徒たちは行事が終わるたびに達成感と充実感を味わうとともに、次に向けてどのような改善策が講じられるか、次の世代にどのような引き継がせていけるかなどのような姿勢がみられるようになり、大きな行事等を通して、大きく成長できていることを実感することができています

本校は、明治30年に小田源吉先生が庄原の若い世代に教育の場を提供することを目的として作られました。県北の人材育成の中心的な役割を果たすという建学の精神が引き継がれております。

御存知のとおり、本校には令和4年度に完成した「医療・教職コース」があります。従来の普通科3クラスのうち1クラスを「医療・教職コース」とし、医師、看護師をはじめとする医療従事者や小学校、中学校などの教員を目指す生徒を高校から育成する県内唯一のコースです。庄原を含む県北では、地元出身の医療従事者や教育者が減少していますので、将来は地元で地域に貢献したい、そのために医療や教育現場で働きたいという希望を持った生徒のニーズに応えるものです。実際の授業では、多面的多角的に医療現場や教

育現場の現代的テーマについて議論する学習をしています。例えば、毎年恒例になっている「いのちの学習」では、心臓移植について患者や医師、家族など様々な視点から意見を交流しました。そのあと、実際に心臓をドナーから提供してもらった娘さんをもつ御家族から御講演をいただきました。生徒たちは話に聞き入り、教室からはすすり泣きも聞こえてくるほど心を打たれたようでした。また、今年度は、コロナ禍で中断していた大学実習も一泊二日で再開します。このコースの特色を経験しながら自身の進路に対する考えを深め、進路意識を高めることにつなげていっていただいています。

また、本校では広島県教育委員会からSTEM型教育を推進するモデル校として指定を受けて、総合的な探究の時間を中心に、実社会における課題を教科等横断的な視点で解決する探究学習を実践してきました。本年度は、県内3校の牽引校としてさらに実践を積んでまいります。令和4年度から続けているPhillyanthropy同好会による小学生教室というボランティア活動も回を重ね、今年度で40回を数えています。活動の中

では、高校生が小学生と遊んだり一緒に勉強したりするなどの回を重ねるごとに生徒たちも大きく成長しています。活動の中心が医療・教職コースの生徒たちで、活動の前には学習指導案を作成し、事前事後には参加者間で協議をし、次の活動へと反省を生かしていきます。教育実習ながら、自分の夢の実現に向けて活動しています。また、このコースの設置から広島大学や県立広島大学、庄原市教育委員会、庄原赤十字病

院などの地元の教育・研究機関、医療機関から御協力をいただき、地域に貢献できる人材



赤十字病



どんな小さな工事・修理でも、お気軽にご相談ください

**ガーデン&エクステリア**

0120-454295 お気軽にどうぞ

 **株式会社 八王子装建**

代表取締役 **西谷光徳** (昭和46年卒)

諸官庁工事指定店 10年保証 お見積り無料 迅速対応

八王子市子安町1-32-19

TEL: 0426 (45) 4295 FAX: 0426 (44) 8549

URL: <http://www.h-soken.com/> E-mail: [nisitani@h-soken.com](mailto:nisitani@h-soken.com)

**中田税務会計事務所**

税理士 **中田 毅**

昭和39年卒

埼玉県狭山市下奥富737-5

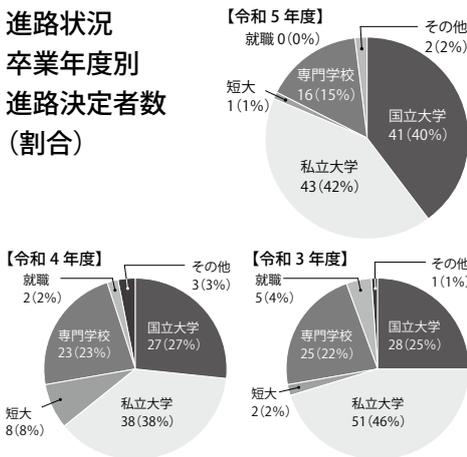
TEL.FAX. 0429-53-9240



を輩出する理論的・実践的な取組の方法を検討しています。もちろん、従来の普通科も、総合的な探究の時間を中心に、庄原市役所や庄原赤十字病院、商工会議所等、様々な機関に御協力をいただきながら、地域発展の担い手となる教育活動を充実させています。

部活動は、今年度も新入生がたくさん参加し、ほとんどの生徒が部活動に加入しています。現在13の運動部、6つの文化部、3つの同好会とこの学校規模としては多い種類で、それぞれ日々精力的に活動を行っています。限られた時間での練習ですが、工夫を凝らし6時完全下校のルールをしっかりと守りながら、多くの運動部が地区大会を勝ち上がり県大会へと進ん

進路状況  
卒業年度別  
進路決定者数  
(割合)



でいます。また、写真部が連続で全国高等学校総合文化祭に出品するなど、結果を出しています。

本年度創立127年を迎えた本校は、これまで培ってきた伝統と新しい理念とを兼ね備えた学校づくりにますます取り組んでまいります。生徒がすべての活動に主体的に取り組むことのできる学校を目指したいと考えています。

同窓生の皆様のさらなる御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



郷土だより

庄原市無形文化財  
庄原民謡「敦盛さん」保存会



会長 児玉 節  
(昭和四十三年卒)

平家物語にみる敦盛の最後の描写は2ページにも満たないが、「敦盛」はやがて謡曲や浄瑠璃や歌舞伎に取り上げられ内容が変容しますが、日本人の心の奥底までも訴え続ける父や母や子への思いが現在まで語り継がれてきた理由でしょう。何故庄原の地に「敦盛さん」が伝承されていったのかは不明ではありますが、庄原の人のやさしさがその基にあるのでしよう。さて芸に秘められた心情をいかに表現し、これを末までも伝承していくのが庄原民謡「敦盛さん」保存会の使命なのです。今現在庄原民謡「敦盛さん」保存会は舞踊の「立ち方」(花柳社中)と唄(6名)・三味線(5名)・琴(2名)・笛(1名)・尺八(2名)・太鼓(2名)・鼓(1名)からな



二階堂調剤薬局グループ

二階堂調剤薬局  
二階堂調剤薬局ときわ台店  
まへの薬局北口店  
まへの薬局おおたかの森店

代表取締役 薬剤師  
石井 美佐子  
(旧姓 瀧口) (昭和48年卒)  
東京都板橋区南常盤台 1-30-21  
TEL 03-3958-9955

る「地方」からなっています。○内は現在会員数、毎月第1、3土曜日に練習・研鑽を積んでいます。庄原芸能祭や庄原民俗芸能大会に出演しています。2018(平成30年)12・2広島県代表として愛媛県松山市で開催された第60回中国四国ブロック民俗芸能大会に出演し、好評を得ました。

800年前平安時代の終わり頃、平家一門の笛の名手「平敦盛」は源平一の谷の合戦で熊谷直実により討たれました。契り浅い奥形「玉織姫」は厳しい源氏の詮議を逃れて「永江の荘」現在の庄原に隠れ住んだと伝えられています。この時の有り様を唄った「口説き」が「門付け唄」となり、大正末期に尾崎如水により現在の形に整えられ庄原民謡「敦盛さん」が成立しました。雅で哀調を帯びた旋律が印象的で、琴は生田箏古流竹原富美枝師、三味線は河面絹子師、更に舞踏家花柳幸之輔師が振付し全国で紹介されています。昭和34年庄原市無形文化財の指定を受けました。

分らないなりに「敦盛さん」の歴史を玉織姫を中心に紐解いていきたいと思います。

『平家物語』や世阿弥の謡曲『敦

盛』には、まったく女性の存在自体が語られてはいません。敦盛の北の方の最初の記載は幸若舞曲(室町中期から末期、織田信長で有名)にあります。北の方は大納言資賢の女とし、敦盛と北の方との出会いを「仁和寺御室の御所にて、月の管弦の有りし時、敦盛は笛の役、同じ楽工にて琴弾き給ひし御姿を一目見しより恋と成て」と管弦の席で知り合ったとされています。

浄瑠璃における1730年「須磨都源平躑躅」四段目では敦盛に心よせる右大辨重虎の妹品照姫の名前が出てきます。1751年「一谷嫩軍記」二段目敦盛の後を追う玉織姫が初めて出てきます。これが江戸時代歌舞伎の世界にも取り入れられ玉織姫の名前が一般化したようです。庄原地方では田植え歌や盆踊り唄として江戸時代中期には歌われていたようです。田植え歌には玉織姫の名前は出てきませんが、旧三上郡地方の唄本(盆踊り唄)の中に敦盛の口説き、玉織姫の口説きとして玉織姫の名前が出てきます。正月の祝い唄として門付け歌になりました。108番まであった門付け歌は最終的には尾崎紅葉により元歌22番に、正

調は8番まで編集され現在に至っています。

倉田百三「光り合ういのち」より抜粋  
正月には鳥追いが来、在方の農家の娘たちは催馬楽という輪舞のようなものをおどって来た。鄙びたものだが美しかった。それから忘れないのは「敦盛さま」である。美しい旗さし物を飾った御座船を肩につるし、哀愁のこもった囃に合わせて、敦盛の討死の物語詩をうたうのだ。敦盛さまは笛の役その姫君は琴の役私はその歌を聞きながら敦盛と玉織姫がこの地上の最も高貴な、美しい若いそして滅びる故に尚さら惜しまれる一対の気がした。あまり高貴でもろいため、この地上に生きることの出来ない存在のような気がした。

さらには「敦盛さん」由来記 紅陽山人(尾崎如水)誌をご参考ください。



庄原市民俗芸能大会 (2024.2.18)

食彩館しょうばら  
**ゆめさくら**

庄原のお土産は、「庄原の食」を一堂に集めた特産店で！  
贈答用には庄原のブランド牛「比婆牛」が人気です！！

〒727-0004 広島県庄原市新庄町 291 - 1  
TEL 0824-75-4411 FAX 0824-75-4422  
〈指定管理者〉株式会社 グリーンウインズさとやま  
代表取締役 奥井 智裕 (昭和57年卒)

森と桜と温泉に心癒される  
丘の上の温泉ホテル

サウナと千葉実母散浴剤の浴槽が人気です。

運営会社(株)サンヒルズ庄原  
社長安部隆弘(昭和63年卒)

桜花の郷  
ラ・フォーレ庄原  
La・Foret Shobara

ご予約・お問合せは  
☎(0824) 73-1800

〒727-0004 広島県庄原市新庄町5281-1 FAX 0824-73-0100

# 芸備線の旅



赤川仁洋  
(昭和五十一年卒)

わたしが営んでいる古本屋「どら書房」で、毎月発行しているミニコミ誌「県北どらくろあ」。ネット上でバックナンバーを公開しているのので、興味のある人は読んでいただきたい。

連載企画に「芸備線ストロール」がある。ストロールはぶらぶら散歩の意味。芸備線の列車に乗って、各駅の周辺をレポートする。最初は列車で移動する予定が、時刻表を調べて驚いた。行くのはいいが、帰りの便がない……。一駅区間列車に乗って駅の周辺を散策、帰路は鉄道の沿道を歩くというルーティーンが決まった。それだと沿道の風物も紹介できる。

スタートしたのが令和三年十月、備後庄原駅から高駅まで乗車した。高駅はもちろん、芸備線の駅で途中下車したことはほとんどなかった。高駅のホームに降り立って、思わず歓声を上げた。今は使われていない対岸のホームの先に、群生するケイトウの赤い

花が満開だった。

駅前の商店のご主人が手入れをされている。

次の平子駅、庄原ダムの湖上にせり出したテラスで昼食。沿線の田んぼの稲穂が黄金色に輝いていた。備後西城駅は町並みも大きく、歴史も古い。大富山（おとおみやま）の古城址に登った。戦国時代に宮氏が居城を移した場所、それ以前の五品嶽城が東の城で東城、西にある城が西城、地名の由来である。



備後落合駅

比婆山駅は、熊野神社の最寄り駅で、以前は備後熊野駅という名前だった。宮氏の重臣、東兵部正幸の蟻腰城址があり、西側斜面を埋める家臣の墓石群は圧巻。備後落合駅の落合は地名ではなく、人と列車が落ち合うという意味。木次線とのターミナル駅として、最繁期には百人以上の職員が勤務。近くに松本清張が「砂の器」のトリックのヒントを得たという旅館

の建物が残っている。

道後山駅の標高は六百十四メートル、手前に中国地方で一番高い鉄橋がある。日帰りの温泉施設「高尾の湯」は、中国地方屈指の高アルカリ鉱泉。道後山駅の近辺に分水嶺があり、その先は下りになる。小奴可駅は町中にある。亀山城址の要害桜は東城三大桜の一つで、葉桜でも風格がある。

内名駅は秘境駅として有名で、全国にファンがいる。駅舎はなく、ホームにプレハブの待合室があるだけ。狸が線路に出て来て歓迎してくれた。備後八幡駅の近くには、かつて帝国製鉄竹森工場があり、資材の運搬に使われたトロッコの線路の遺構が残っている。

東城は名所・旧跡の宝庫で、観光パンフレットも充実している。国登録有形文化財の「三楽荘」（旧保澤家住宅）は大正ロマンの世界だ。県境を超えて、芸備線ストロールは岡山の新見駅まで完走した。赤字路線で廃線が喧伝されるが、鉄道の価値は経済だけではなく、鉄道は経済だけではなく、文化遺産、歴史ある文化遺産、実際に旅したわたしの感想である。



ゴルフ・バス旅行同好会は高齢化に伴う会員減少に加え、幹事の病気などにより、活動中止になっています。

囲碁同好会（会長 合田良三・三十三年卒）のみが第二日曜日に新宿東口近くにある囲碁サロン「喜楽」の一室を借りきって月例会を開いています。

囲碁同好会も少子高齢化の影響を受けて会員は減少してきており、現在は十三名になっています。そのうち庄原格致のOBは九名で他の方は会員紹介で参加していたが、事務局が用意したパンやおにぎりに缶ビールを片手に楽しんでいきます。

十三名の棋力はさまざま、最高は六段、最下者は九級です。棋力の差に応じて置き碁をし、勝てば三ポイント獲得、負ければ三ポイントを失い、全員総当たりの勝負でその成績によって年末に表彰式を行っています。

昨年七月に事務局を八谷英樹（三十五年卒）から瀬尾明雄（四十

年卒)と野村栄(会員紹介)にバ  
トンタッチして運営しています。  
囲碁に興味をお持ちの方は瀬尾ま  
でご連絡ください。初心者の方も  
大歓迎です。

(文中、敬称略)

編集後記

今年の会報編集作業は、オリンピックを見なが  
ら、カーブを応援しながら進めています。いつも  
新井監督の采配にはワクワクします。時々「何で  
〇〇を出さなんだ」と思うことはありますが、カー  
ブは家族ですから、お兄ちゃんから弟まで全員で  
戦って、負けて全員で悔しがり、勝って全員で喜  
ぶことが大切だというのが新井監督の考えではな  
いでしょうか(勝って一番喜んでるのは家長で  
ある監督のような気がしますが)。八月初旬に庄  
原に帰ってきましたが、一日は中国新聞でカーブ  
の記事を見て気分よく始めました。

広島はサッカー、バスケットボールなども活躍  
しており何だか嬉しくなります。

会員だよりには、塚原さん(三十八年卒)と本  
間さん(四十九年卒)から御寄稿いただきました。  
母校の現況は、新任の龍王教頭先生にお願いし  
ました。後輩、頑張っていますね。

郷土だよりは、「敦盛さん」と「雲備線」です。  
今年の総会では、敦盛さん保存会の映像をご覧い  
ただく予定です。

最終ページに御寄付いただいた方の氏名を掲載  
していますが、東京庄原格致会も同じルーツを持  
つ家族のようなものです。引き続き皆様の御浄財  
をお寄せいただきますようお願いいたします。カーブ  
の樽募金のように。

(事務局)

令和5年度東京庄原格致会会計報告  
(自令和5年7月1日~至令和6年6月30日)

一般会計収支報告書

(単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 前年度からの繰越金, 年費, 広告収入, 寄付, お祝い金, 懇親会会費, 受取利息(一般), 合計. Includes sub-totals for 支出の部.

基金会計収支報告書(自令和5年7月1日~至令和6年6月30日) (単位:円)

Table with 4 columns: 収入の部, 支出の部, 前年度からの繰越金, 寄付, 受取利息(基金), 合計.

財産目録(令和6年6月30日現在)

Table with 2 columns: 郵便局振込口座(年会費振込口座), 一般口座, 郵便局口座, 合計. Includes sub-totals for (一般勘定) and (基金勘定).

左記のとおり報告致します。  
令和6年7月6日  
東京庄原格致会  
会長 八谷英樹  
監事 遠藤靖夫  
監事 塚原通彦  
事務局長(会計) 武廣 巖

東京庄原格致会役員名簿(令和五年十月二十二日)

Table with 2 columns: 職名, 氏名(卒年). Lists members like 顧問 孝一(昭和二五年卒), 兼利 卓蔵(昭和二八年卒), etc.

副事務局長

西川 進(昭和四八年卒)

幹事

大岩 征子(昭和三七年卒)

小池 正之(昭和三八年卒)

中田 毅(昭和三九年卒)

田中 文男(昭和四〇年卒)

若山 博文(昭和四一年卒)

新宅 二三(昭和四二年卒)

吉田 玲児(昭和四七年卒)

田原 英樹(昭和四八年卒)

畑原 裕文(昭和四八年卒)

矢吹 政至(昭和四八年卒)

原 文伸(昭和五八年卒)

監事

遠藤 靖夫(昭和三七年卒)

塚原 通彦(昭和三八年卒)

副幹事長

石井美佐子(昭和四八年卒)

事務局長

武廣 巖(昭和四八年卒)

ご逝去のお知らせ

令和5年度に事務局で把握した  
ご逝去された会員の方です。

新田貞夫 様 昭和29年卒  
加藤敬弘 様 昭和34年卒  
瀬尾春正 様 昭和35年卒

謹んでお悔やみを申し上げます。

年会費の納入のお願い!

「年会費」は、東京庄原格致会の会報発行等の運営費を  
賄うための最も重要な財源です。  
御一人二千元をお願いしております。  
お送りいたします振替用紙で入金いただきますよう、よ  
ろしくお願いいたします。  
ご寄付につきましても同用紙でお願いします。

「ご寄付ありがとうございました。」  
昨年度、次の方々からご寄付をいただき  
ました。ありがとうございます。

- 大竹美喜 様 (38年卒) 渡邊千草 様 (39年卒)  
(東京広島県人会 幹事) 三宅倭夫 様 (39年卒)  
三浦重造 様 (26年卒) 中田毅 様 (39年卒)  
兼利卓蔵 様 (28年卒) 助政千尋 様 (40年卒)  
恵木弘 様 (30年卒) 瀬尾明雄 様 (40年卒)  
岩見勝義 様 (32年卒) 田中文男 様 (40年卒)  
大竹京子 様 (33年卒) 田中順子 様 (40年卒)  
熊原清 様 (34年卒) 花田和教 様 (40年卒)  
迫田芳徳 様 (35年卒) 井上由夫 様 (41年卒)  
田湖統洋 様 (35年卒) 小川哲二 様 (41年卒)  
積山弘佳 様 (35年卒) 守長和子 様 (41年卒)  
八谷英樹 様 (35年卒) 新宅二三 様 (42年卒)  
光島勝馬 様 (36年卒) 福場泰蔵 様 (45年卒)  
江角幹夫 様 (36年卒) 福場美知留 様 (45年卒)  
遠藤靖夫 様 (37年卒) 木曾隆治 様 (46年卒)  
大岩征子 様 (37年卒) 本間千すみ 様 (49年卒)  
新千樫 様 (37年卒) 清水浩也 様 (55年卒)  
岡崎千鶴子 様 (38年卒) 林家ひろ木 様 (平10年卒)  
川野正江 様 (38年卒)  
平川智子 様 (38年卒)

デザイン・印刷・ノベルティで企業イメージをUPさせる  
販促品をご提案いたします。



株式会社クレスコアースコミュニケーションズ  
〒101-0033  
東京都千代田区神田岩本町4-4 神田北辰ビル3F  
TEL.03-5207-5189  
www.cresco-ars.co.jp